

京大発 ベンチャー支援 社会へ拓く、未来へ続く

京都大学産学共同実用化促進事業(出資事業)概要



International Science Innovation Building

▲ 国際科学イノベーション棟

令和2年7月



問合せ先・アクセス

京都大学 産官学連携本部 出資事業支援部門

〒606-8501
京都市左京区吉田本町 国際科学イノベーション棟
TEL : 075-753-5535 FAX : 075-753-7584
<http://www.venture.saci.kyoto-u.ac.jp/>
Email : venture-incubation@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

京都大学イノベーションキャピタル株式会社

〒606-8501
京都市左京区吉田本町 国際科学イノベーション棟
TEL : 075-753-5303 FAX : 075-753-7592
<http://www.kyoto-unicap.co.jp/>
Email : info@kyoto-unicap.co.jp



▶▶ 大学のインキュベーション機能を強化

本学の世界最高水準の独創的な研究開発を推進し、その成果を新産業の創生や社会的価値の創出につなげるため、京都大学産官学連携本部が京都iCAPやTLO京都と協力し、シーズ段階から研究成果の実用化や事業化を多角的に支援します。

1 GAPファンドプログラム

研究成果の実用性を検証するための支援制度です。事業化を目指す研究開発に対し、最長1年間、最大300万円の助成を行います。

例

研究成果の実用性を検証するための

- プロトタイピング (試作品作成)
- デモンストレーション (試運転)

実用性を高めるための

- バリエーション追加試験

▶詳細は応募要領をご確認ください。

2 インキュベーションプログラム

研究成果の事業化のために、本学研究者と起業家が協力し、VCからの資金調達を目指すプロジェクトを支援する制度です。

ベンチャー企業での研究成果の事業化を目指す経営者候補または経営者と、本学教職員の共同プロジェクトに対し、最大3000万円/年の助成を行います。

対象プロジェクトとなるための要件

- 実用化が見込まれる京都大学の研究成果を活用していること。
- 法人設立済又は3年以内に法人設立予定でVCからの資金調達を目指していること。
- 経営者候補または経営者がいること。

▶詳細は応募要領をご確認ください。

3 京都大学ベンチャーインキュベーションセンター (KUViC)

▶ 国際科学イノベーション棟 1階

ベンチャー企業が入居できるオフィスを設置しています。

キャンパス内にベンチャー企業の本社機能を置くことができる場所を提供し、創業前後のベンチャー企業の経営チームと研究者が密に協働できるようにすることで、研究成果の事業化を加速します。産官学連携本部や京都iCAPにより、アンダーワープで日常的にコミュニケーションを取りながら支援を行います。

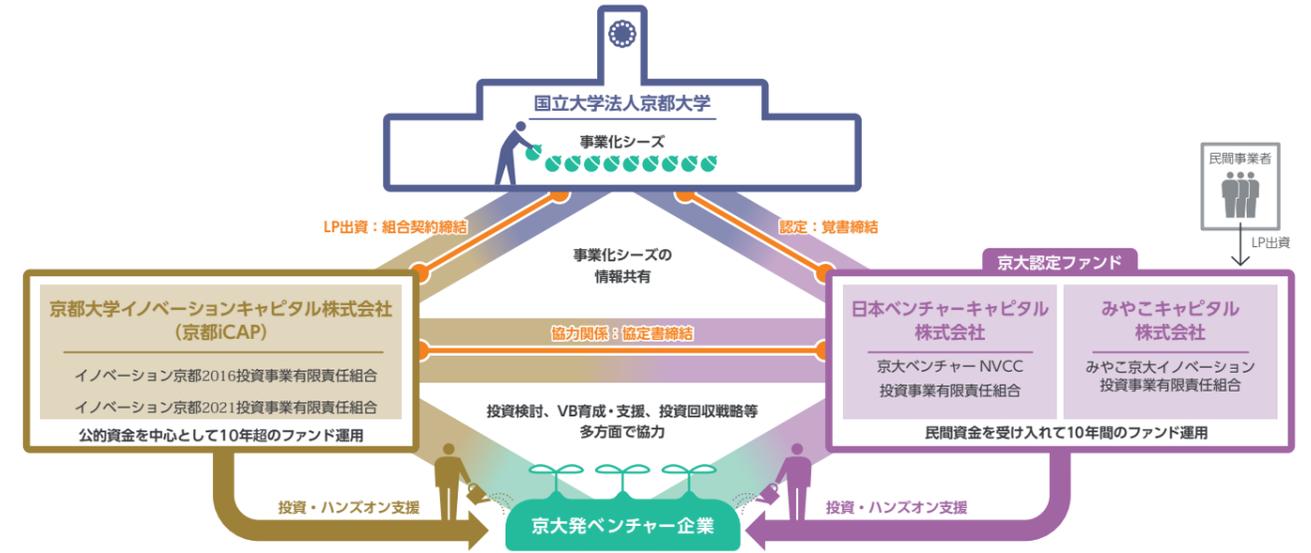


▶▶ 長期運用で基礎研究の事業化も促進

基礎研究に厚みのある京都大学の研究成果は、実用化までに長い時間を要するものも多く見られます。そこで「イノベーション京都投資事業有限責任組合」では、運用期間を10年超に設定（民間ベンチャーキャピタルのファンド運用期間は10年超が一般的）。長期のファンド運用により、イノベーションとなり得る基盤技術の育成を目指します。

▶▶ 公的資金と民間資金を効率的に運用

公募により選定された民間の運用事業者が設立するベンチャーファンドを、「京大認定ファンド」として認定。公的資金を運用する京都iCAPと、民間資金を運用する京大認定ファンドが、京大発ベンチャーに対し投資を行います。それぞれが協調・補完してベンチャー支援を行うことで、効率的に資金を調達するシステムを目指します。京都大学、京都iCAP、京大認定ファンドが連携して事業化を推進し、研究成果を積極的に社会へ還元します。



▶▶ ステージごとのコンサルティング

京都大学産官学連携本部と京都iCAPが中心となり、学内外のメンバーがシームレスにシーズの実用化・事業化を支援します。

